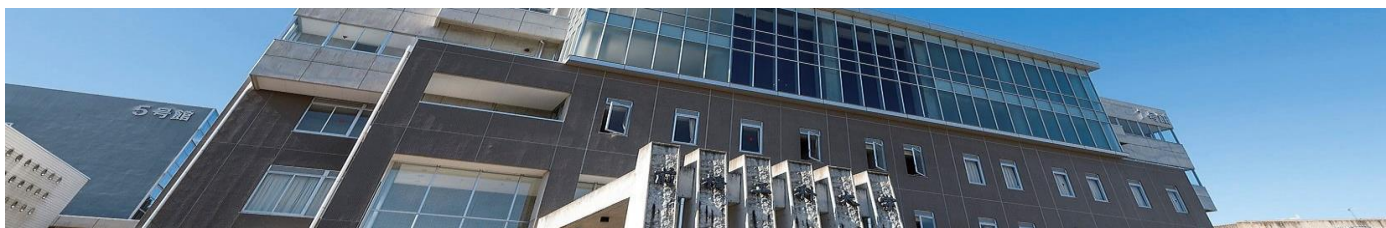




先輩職員インタビュー

本学事務職員は、前橋市等からの派遣職員が25人、大学採用の職員が5人、計30人の体制です。今回は、平成30年に採用された事務職員の新部さんに仕事の内容について話を聞いてみました。



平成30年採用 新部 智之さん（26歳）

ー現在担当している仕事は何ですか？



毎日が充実していると話す新部さん

現在、私は主に研究費に関する業務と、地域貢献活動に関する業務を担当しています。

研究費に関する業務については、主に研究費の管理を行っています。研究費には大学が教員に支給する学内研究費や、国などが支給する外部研究費などがあり、これらの研究費のほとんどは税金で賄われているため、適正な使用と管理が求められています。研究費の適正な使用と管理を行うために、研究費申請の応募書類の確認、研究費執行における処理とチェック、研究終了後の報告書のとりまとめなどを行っています。

地域貢献事業に関する業務では、大学が行う地域貢献事業の計画・実施を行っています。主な行事としては、一般の方が誰でも受講できる「公開講座」や、大学の夏の目玉行事でもある「こども科学教室」などを行っています。地域貢献事業は大学全体を巻き込んでの大きな仕事となるため企画や準備が大変なこともありますが、参加していただいた方から「参加してよかった」、「ありがとう」といった声をいただけることにやりがいを感じます。

ー前橋工科大学で働こうと思ったきっかけを教えてください。

大学時代、将来どのような仕事をしようか悩んでいた時期がありました。漠然と「公的な仕事をしたい」という考えはあったのですが、具体的なイメージを持てずにいました。そんな中、様々な業界を研究している中で「大学事務職員」という仕事があることを知りました。研究や教育を通して様々な社会貢献を行い、学生や教員などの様々な人が行き交う「大学」という場が好きだった私は、大学事務職員という仕事に心が惹かれ、この仕事に就くことを決意しました。

就活では色んな大学の採用試験を受けましたが、そんな中で前橋工科大学が職員採用の募集をしているのを見つけました。自分が生まれ育った前橋に貢献しながら大学で働けるということに魅力を感じ、最終的に内定をいただき、入職することを決めました。

ー最後に就職活動中のみなさんに一言お願いします。

前橋工科大学の事務局には前橋市役所からの派遣職員と、大学で採用されたプロパー職員がいますが、みんな分け隔てなく仕事をしており、非常に風通しの良い職場だと思います。

また、大学の事務職は様々な業務を行っており、私が知っている業務はまだほんの一部に過ぎません。将来は、多様な業務を経験し、学生のみなさん、先生方、地域の方の、誰からも信頼される職員になり、前橋工科大学をより一層盛り上げていきたいと思っています！



以上、新部さんのインタビューでした。前橋工科大学で働きたいと思った方、ぜひとも採用試験にチャレンジいただき、来年から一緒に楽しい大学を作っていきましょう！